星屑

2009年 5月号

No. 410

熊本県民天文台

3/26(木)、出版社が「文一総合出版」になって
「RikaTan（理科の探検）」誌が 変身しました！
リニューアルに合わせて「星空と宇宙」の連載を始めました

県民天文台で好評の「星空を科学する楽しみ方」、全国誌でも賛同者が増えそうです

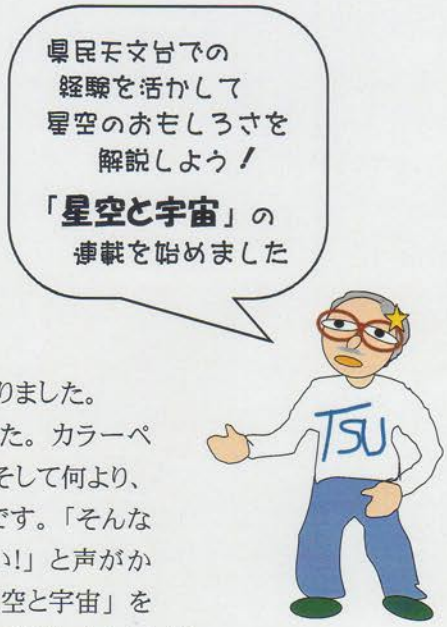
■「新しい科学の教科書」から始まった

子どもの科学的好奇心を大きく育てたい。大人の方にも、もっと科学的なものの見方を体得してもらいたい。全国でそう考え行動してきた人達が、2003年2月の「新しい科学の教科書」以来、次々と書籍を出版。さらに「RikaTan」で科学雑誌の新しいジャンルを開きました、日本の科学教育や普及活動に影響を与え始めています。

■ 「RikaTan」 大人が楽しむ科学雑誌へ

理科教育雑誌として、2007年の春にスタートした「RikaTan」ですが、3年目の春を迎え、大きく変身し始めました。学校の教室での「理科」というイメージではなく、身の回りの自然や環境をダイナミックにとらえ、面白い視点や、観察法を紹介。最新の科学知識も楽しく分かり易く解説しようという姿勢が鮮明になりました。

4月号からは出版社も変わって、紙質が良くなりました。カラーページが増え、写真の印刷がとてもきれいになりました。そして何より、記事の内容が厳選され、読みやすくてしかも面白いのです。「そんな誌面には、ぜひ、県民天文台流の星空の解説が欲しい!」と声がかかったのですから、嬉しいですね! 全国の読者が「星空と宇宙」を読んで、県民天文台の楽しい雰囲気や「宇宙」を感じてもらいたいです!

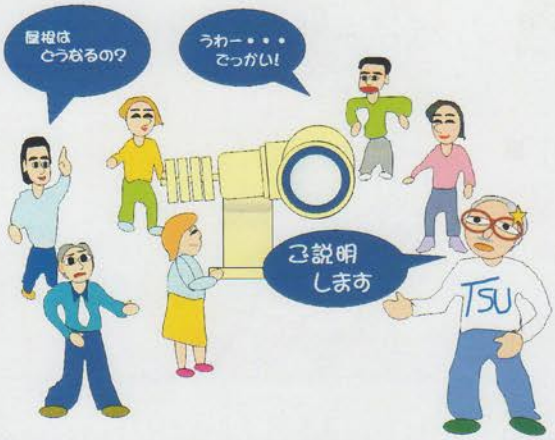


3/29(日)、大人ばかり10名の団体さん
雨天でも「星の観察会」を開催
4次元シアターを上演したら、さかんに質問が飛びだしました！

■ 雨の日でも解説してもらえますか?

3月の下旬、そんな電話が入ってきました。「はい、構いませんよ!」と答えると、「では楽しみしています。」という声が返って来ました。来台予定日は日曜日だし、人数は10名程度らしいです。私（艶島）一人でも大丈夫、そう考えて引き受けました。

当日までに数回、電話でのやり取りをしたら、「解説内容に特別な希望はありません、お任せします。」というのです。それならと、「4次元宇宙シアター」を中心にして解説しようと考えました。



■ 予想どおりの雨!

星が見えないのは残念ですが、日程が決まっていますから仕方ありません。一行が到着された後、まずは2階の観測室に上がって頂きました。

例によって、望遠鏡とスライディングルーフの解説です。

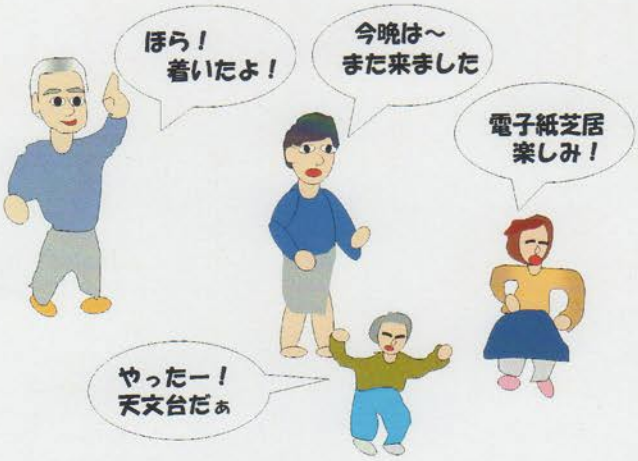
望遠鏡の筒先から中をのぞき込んで、筒底に大きな「鏡」が入っていると気付くと、皆さんビックリ!です。そこで解説。「大きな凹面鏡で光を反射、筒先に向かって折り返しながら1点に集めます。そのままそれをのぞき込むと自分の頭が邪魔ですね。それで、集まった光を小さな斜鏡（平面鏡）で直角に折り曲げ、鏡筒の真横方向に引き出します。・・・」

赤道儀架台の解説に移る頃には、「屋根はどうなるの?」と鋭い質問が飛びだし始めました。

■ 大画面で「4次元シアター」　それから、1階へ移動していよいよ「宇宙旅行」の疑似体験。

ガリレオが星空に望遠鏡を向けてから今年は400年目、「国際宇宙年」です。「神が作った、完全無欠・永遠不変の世界」というガリレオ以前の世界観は大きく変わりました。その後の天文学をはじめとする科学の発展によって、今、私たちは、ダイナミックで変化に富んだ宇宙の姿を知ることができます。・・・・雨天の「星の観察会」も、なかなか面白いですね!

4/3(金)、「ドン雲り」の夜に、電話がかかりました
天文台に連れて行く、と子どもに約束していたのです
電子紙芝居の解説が面白い！ と子どもがいうのですが‥



■ 似たようなできごと?!

今度は4月3日の金曜日、公開日ですが昼間からドン曇り、数日前からお天気予報でもそう言っていました。それで、「当然、休台」だと思っていたのです。ところが携帯に電話がかかってきました。天文台からの転送です。

■ 楽しみにしている!

「子どもたちがとても楽しみにしていて、どうしても行きたい、と言っているのです。どうでしょうか?」そう聞いたら、「ノー!」とは言えませんね。天文台へ駆けつけ、プロジェクターの準備をしました。まもなくやってきたのは一家族。子ども二人に母親、車を運転してくれていたのはおじいさんのようです。みんなとても楽しそう!

以前、天文台に来たとき、あいにく雲が広がってしまったのだけど、電子紙芝居での解説がとても楽しかったのだそうです。しっかり覚えていてくれたのですね。

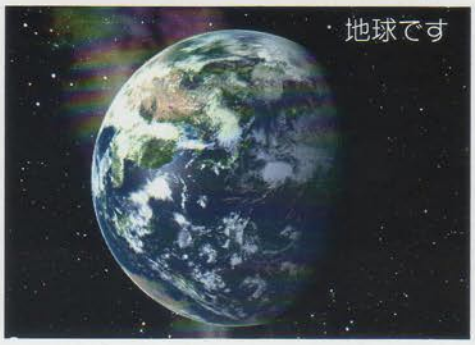
■ 「4次元宇宙シアター」と電子紙芝居

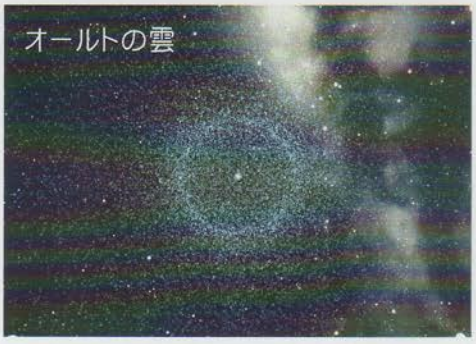
おじいさんには、4次元シアターがとても好評。次々と質問が飛び出しました。「これはすごい! これは面白い!」の連発でしたね。でも、ちびっ子たちには少し退屈だったみたい。リクエストに応え、電子紙芝居も1つ上演して、最後は大満足して頂きました。

4/8(水)、NHK熊本文化センターで

「楽しい天文学」講座が開講しました

＜ 星空から4次元の宇宙まで ＞ 4次元宇宙シアターの上演から



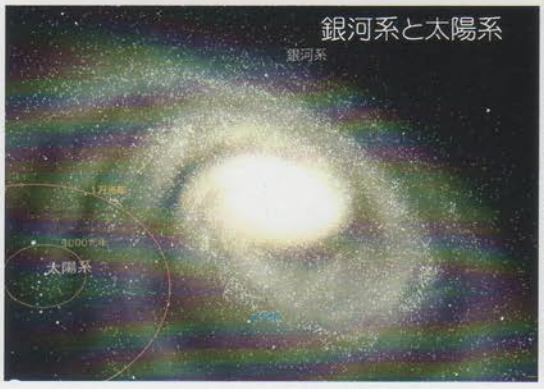


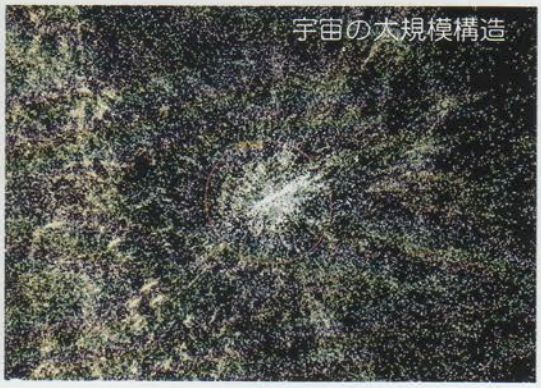
■ 初回は、「4次元宇宙シアター」から

4月の始めまでに「受講申込」があったのは4名。開講する基準の人数には達しなかったのですが、「熊本では初めての試み」です、とにかく「開講する」ことになりました。7月には皆既日食があり、これから市民の関心も高まると期待しています。

県民天文台を紹介したあと、「4次元宇宙シアター」を上演しました。どうです、少し雰囲気が伝わるでしょう?

地球から離脱すると、地球がゆっくり自転するところが楽しめます。次は月や太陽系の惑星巡り、たくさんの外縁天体をくぐり抜けると、そこにはオールトの雲。さらに、近傍の恒星たちの間を飛び回ってから、銀河系を探索。そして、無数の銀河がシャボン玉の表面に集まっているかのような「宇宙の大規模構造」も確かめました。次回は4/22。





ちょっと一服

Poem & Illustration

やっと、やっとPC原稿復活です。まだ新しいPCに慣れてないのはいっしょなんですが…（ヴィスタなんか大嫌いだ！！！！）プリンターも新しい複合機になって、どうにかこうにか動き始めました。複数の締め切りを抱え、PCとプリンターの不調の中、ばたついていた３月から解放されて、やっとひと段落。夜桜と星を一緒に撮ろうと思っていたのに、もうすっかり葉桜です…

真夜中には串団子の土星がちょっと西に傾き、春の大曲線が頭の真上で大きな弧を描いています。東に明るい星を見つけて、んん？と思ったら、もうベガが結構高くなっていて、サソリもどうやら顔を出しているらしい・・・・らしいというのは、透明度が悪すぎる春の空、見えるのは、上空の２等星まで。ま、ちょうど煌々とした月の明かりと、私の目が悪くなってきているせいもありましょうが…それにしても悲しい・・・・

で、今月は、久々に撮った、ちょっとメタボなお月さまです。

るなてぃっく

月を描きながら
月を見ていない　ことに
ふと
気づいた

イソガシイ
という呪文が
目をすっかりふさいでいたので

季節の移り変わりも
金星が東の空に移ったことも
月の満ち欠けすらも
なにもかもがあいまいな
サーモンピンクのもやの中

ひさしぶりの空には
真っ赤な月
どうやら
私の呪文が
空中に広がっている
らしい

By Dio

2009年3月の県民天文台
～運営日誌より～

開台率　8日／13日＝61．5%　　総開台日数　10日
一般来台者数　500名　　会員来台数　22名

日付	天気	担当運営	来台数	記　事
1 日 （月）	晴れ／ 曇り	艶島 小林ま	0人	
7日 （土）	曇り	中島	2人	曇りなのでぼんやりとした月らしきものとしかいえないものを見てもらって、下の部屋でいろいろとお話をしました。 お母さんと6歳の男の子。とても落ち着いたいい子でした！！
8日 （日）	曇り	艶島 中尾と	45人	城南町婦人会 月の観察（41 Cm） 1階では4次元シアター（MITAKA）上演 ★土曜日に婦人会からTELがあって、急に団体向けの観望会をやることになりました。ぜんざい会＋お月見＋宇宙旅行でした。 　城南町在住の方々ですが、 「天文台に初めて来た！」 という人が多くて、とても喜んで下さいました。 　Tommyさん、応援ありがとう！
10日 （火）	晴れ	艶島	2名＋ 430 名	お昼前　「ロケット打ち上げ」をしていたら、隈庄小学校から遠足の一行がやってきました。全員がそろうのを待って、一緒にカウントダウン！ ロケットが高一く上がったので、皆驚いてくれました。

日付	天気	担当運営	来台数	記　事
１４日 （土）	晴れ	艶島 小林Ｊ 小林M 西嶋 高田 白鳥	０	トークアバウト ・星屑の発送作業 ・総会の日程決定 ５月１７日（日） 火の君総合文化センター １０：００開会
１５日 （日）	晴れ	艶島 中尾Ｔ 小林M	７人	金星、シリウス、オリオン星雲 月の海がどうやってできたか？ ＵＦＯがいるのか等の質問がありました。
２０日 （金）	快晴	西嶋 小林Ｊ	０人	久々の金星 快晴・・・・・・・なのにお客様は０です・・・・・・・ 土星がみごとに串団子ですねー。
２２日 （日）	雨のち 曇り	艶島 中島	０人	曇り空でしたが待機。 ２１ｈになったので帰ります。 ２１日に韓国に行ってきたので、今日は小林Mの代わりで来ました。韓国では花粉症が出ません。杉の木がないのです！
２７日 （金）	晴れ／ 曇り	西嶋 艶島	４人	９時に電話。薄雲越しの土星、アークトゥルス、シリウスを見ていただきましたが、星座の話で大盛り上がり。１０時過ぎまでにぎわいました。
２９日 （日）	雨	艶島	１０人	望遠鏡とスライディングルーフの説明 「４次元シアター　ＭＩＴＡＫＡ」 質疑応答　　流れ星って何？　等々

Ｂ５のたわごと

今年のさくら、いつもより早めに咲いたのに、花冷えのお陰で長く楽しむ事が出来ました。いつもは空(宇宙)ばかりに目が行くのに、この時期はさくらに釘付けで、沢山写真を撮りました。で、ハタと気がつきました。ファインダー越しにしか、さくらを見てない事に…。今度の日食も、こうならないようにしないと…。

☆５月の天文現象＆行事☆

２日（土）　八十八夜　　上弦（０５：４４）
　　金星が最大光度（16:58　−4.5等　視直径38.4″）

３日（日）　ぎょしゃ座Ｒが極大（6.7〜13.9等　周期458日）

５日（火）　立夏（りっか…太陽の光熱いよいよ強く、夏の始まり）

６日（水）　土星の衛星テチスの影にエンケラドスが入る　みずがめ座η流星群が極大
　　(23:06.9　減光量89%　継続時間4.6分)

９日（土）　木星の衛星エウロパがガニメデを隠す(金環食)　　満月（１３：０１）
　　(03:06.9　減光量22%　継続時間6.4分)
　　トークアバウト（天文台にて　２０：００〜　変更の場合もあります）

１７日（日）　天文台総会　１０：００　火の君総合文化センター
　　〒861-4214 熊本県下益城郡城南町舞原 394-1　TEL： 0964-28-1800
　　下弦（１６：２６）

１８日（月）　水星が内合(22:32　6.0等　視直径12.2″)

２１日（木）　小満（しょうまん…陽気が良くなり万物が満ちる）

２２日（金）　木星が西矩(00:55　-2.4等　視直径40.3″)
　　海王星が西矩(07:058　7.9等　視直径02.2″)

２４日（日）　新月（２１：１１）

２７日（水）　海王星と木星が最接近(18:31　00°23.4)

３１日（日）上弦（１２：２２）

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌　「星屑」　2009年5月号　通巻410号
発行所　　熊本県民天文台事務局　　〒８６１−４２２６
熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内　熊本県民天文台
ＴＥＬ　　０９６４−２８−６０６０
振替口座　０１７００−５−１０５６９７
ＮＰＯ熊本県民天文台事務局
ホームページ　http://astro.magma.ad.jp/
メーリングリストの加入申し込み受付中　kcaohige@kcaohige.com 中島まで